

会議録

会議の名称	第1回 枚方市改革・改善サイクル評価員会議
開催日時	平成27年5月1日（金）18時00分から18時35分まで
開催場所	枚方市役所 別館4階 第2委員会室
出席者	正木啓子評価員、三木潤一評価員、和田聡子評価員
欠席者	-
案件名	(1) 平成27年度 枚方市改革・改善サイクルの実施内容について (2) その他
提出された資料などの名称	資料1 平成27年度 枚方市改革・改善サイクルの実施予定（案） 参考資料① 枚方市改革・改善サイクル実施方針 参考資料② 類似事業グループについて 参考資料③ 事務事業実績測定調書（サンプル） 参考資料④ 事業概要説明シート（サンプル）
決定事項	平成27年度 枚方市改革・改善サイクルの実施予定（案）を確認 平成27年度点検・評価対象事業グループを決定
会議の公開、非公開の別及び非公開の理由	公開
会議録などの公表、非公表の別及び非公表の理由	公表
傍聴者の数	1人
所管部署（事務局）	行政改革部

審 議 内 容

1. 開会

座 長：それでは、定刻となりましたので、ただ今より、平成 27 年度 第 1 回 枚方市改革・改善サイクル評価員会議を開催いたします。

まず初めに、事務局から配付資料等について、確認をお願いします。

事務局：それでは、お手元の資料の確認をさせていただきます。

本日の案件等を記した次第と、**資料1**枚方市改革・改善サイクルの実施予定（案）、**参考資料①**枚方市改革・改善サイクル実施方針、**参考資料②**類似事業グループについて、**参考資料③**事務事業実績測定調書（サンプル）、**参考資料④**事業概要説明シート（サンプル）となっております。資料の過不足等はありませんでしょうか。

座 長：今年度は第1回ということですが、この評価員会議は昨年度からの継続ということで、2年間で改革・改善サイクルをやっていくということでございますので、まず、平成26年度の取り組み結果をご説明いただきたいと思います。

事務局：それでは、改革・改善サイクルの趣旨からご説明いたします。

平成24、25年度で実施しました事務事業総点検の結果と課題を踏まえ、さらなる事務事業の見直しや改善に向けた取り組みを進めること、また、事務事業を横断的に点検・評価することで予算への確実な反映や点検・評価の観点を他の類似事業に活かし、次年度以降の事務事業の執行につなげるということを趣旨としております。

次に目的でございますが、①効率的・効果的な行政運営の推進、②検証結果の事後確認及び類似事業への活用、③納得性の高い行政運営、④職員の意識改革の推進を目的としております。

次に、類似事業グループについてですが、すべての事務事業を25の類似事業グループに分類し、そのうち、昨年度は、負担金交付事業、補助金事業、イベント関係事業、情報発信事業、保健・医療事業、その他サービス提供事業の6グループを点検・評価の対象事業グループに選定いただきました。

また、事務事業の選定については、評価員選定分として69事業を選定いただき、所管部署選定分としては26事業を、補助金事業選定分としては8事業を選定し、合計103事業となりましたが、そのうち、2事業については、重複しておりましたので、101事業を対象に点検・評価をいただきました。

その結果、市としての対応方針では、改善となりました事業は41事業、拡充・重点化となった事業は7事業、現状のまま継続となった事業が46事業、休止・終了が5事業、廃止となった事業は2事業となりました。

また、平成27年度当初予算での予算削減額といたしましては、10事業で2億1,438万1千円となっております。説明は以上となります。

座 長：ありがとうございました。いつも申し上げておりますが、現状のまま継続となっている事業につきましても、評価員からいろんな意見が出ておりますので、それらの意見も担

当部署の方へお伝えいただければと考えております。その他、何かございますか。

<意見等なし>

2. 平成27年度 枚方市改革・改善サイクルの実施内容について

座長：それでは、案件（1）平成27年度 枚方市改革・改善サイクルの実施内容について、事務局より説明をお願いします。

事務局：それでは、案件1の平成27年度 枚方市改革・改善サイクルの実施内容について、ご説明いたします。

資料1平成27年度 枚方市改革・改善サイクルの実施予定(案)をご覧ください。この資料は、今年度の実施手法について、事務局としての案をまとめたものでございます。

それでは、資料に沿ってご説明させていただきます。

まず、1. 概要についてですが、こちらは、昨年度と同様の目的で行うものです。

次に、2. 対象事業についてですが、平成27年度における点検・評価の対象となる事業は、昨年度と同様に、参考資料①として添付しております、枚方市改革・改善サイクル実施方針に掲げる事業選定の観点に基づき、本市の全事務事業のうち、評価員及び所管部署により事業選定を行うものです。

まず、①類似事業の分類及び対象事務事業の選定でございますが、所管部署による選定といたしましては、所管部署において、拡充・見直しなどを検討している事務事業を各部1事業以上、選定するものです。

次に、評価員による選定といたしましては、昨年度同様に、まず、類似事業グループの選定を行っていただきます。**参考資料②**類似事業グループについてをご覧ください。

類似事業グループにつきましては、平成26年度と同様に、こちらの資料に記載しております、25グループに全事務事業を分類することを考えております。

そのため、評価員の皆さまには、この25グループから平成27年度に点検・評価の対象とする類似事業グループを選定いただきたいと考えております。

恐れ入りますが、**資料1**平成27年度 枚方市改革・改善サイクルの実施予定(案)にお戻りください。

2. 対象事業の評価員による選定の②点検・評価対象事業の選定として記載しておりますとおあり、決定しました類似事業グループの中からさらなる見直しや改善の余地がある事業の選定をお願いしたいと考えております。

事業数といたしましては、所管部署による選定と評価員による選定をあわせまして、100事業程度を想定しております。

次に、3. 点検・評価資料ですが、資料については、昨年度と同様に事務事業実績測定調書、事業概要説明シートを基本に、点検・評価を実施することとしており、点検・評価の対象とする事務事業の選定時には、事務事業実績測定調書を資料として選定いただくこととしております。

なお、昨年度の評価員会議の中でも、評価員の皆さまからご指摘をいただいております事務事業実績測定調書の記載内容につきましては、市民により解かりやすい調書にするため、調書作成依頼時に、各部署へ作成趣旨の一層の浸透を図るとともに、作成期間

を十分に確保し、調書のさらなる精度の向上・均質化に努めてまいりたいと考えております。

また、平成 27 年度の点検・評価の対象となった事務事業につきましては、昨年度同様に一次点検資料といたしまして、事業概要説明シートを作成することとします。

なお、各資料につきましては、参考資料③、④としてサンプルを添付しておりますので、ご参照ください。

資料1に戻っていただきまして、4.今後のスケジュール（案）をご覧ください。

今後、所管部署及び評価員による事業選定を行った後、7月上旬に第2回評価員会議を開催し、平成27年度の点検・評価対象事業の決定を行っていただくこととしております。

その後、一次点検・一次評価を実施し、8月下旬頃には、第3回評価員会議を開催し、二次点検・評価対象事業の決定を行っていただくこととしております。

また、10月下旬には、第4回評価員会議を開催し、各課との公開によるヒアリングを実施していただくこととしております。

最後に、11月には、点検・評価結果を踏まえた本市の対応案を作成・公表し、市民等の意見を踏まえ、来年1月中旬～下旬にかけて、市としての対応方針の決定及び公表を行っていく予定としております。簡単ではございますが、説明は以上です。

座長：ありがとうございます。ただいま事務局から説明をいただきましたが、平成27年度の実施について、評価員の皆さまからご意見等ございますでしょうか。昨年度は、事務事業実績測定調書において、きちっと書かれている部署とそうでない部署と、各部署によって中身のバランスが悪かったですが、今年度は、行政改革部から言っていただけということで、市民の方にもわかりやすいものがでてくると思いますが、いかがでしょうか。

評価員：いつも座長からも言っていることですが、調書を書かれる時に、市民にという視点が重要で、評価員会議で評価員が見るからではなく、市民向けだということをあらかじめ意識していただかないと、専門用語であるとか、庁内で当たり前に使われている用語が市民の方にはわかりにくかったりするので、キーワードは「市民」というところを所管課にお伝えいただければと思います。調書と聞く段階で、市民向けでなくなっているようにも思いますが、そうではないというところをお願いします。

事務局：市民に説明責任を果たしていくという意味でも、行政改革部の方からもきっちり、誰が見てもわかるような調書の作成を所管部署へ依頼していきたいと考えています。

座長：市民向けで書こうとする努力が、普段、市民の方へ説明する際もそういう説明ができるということにつながる、一つの訓練だと思いますので、お願いします。その他、何かございますか。

評価員：難しい面もわかりますが、目標等をただ書いているというところが否めません。目標達成が100%だったり、そもそもこの事業は何をしようとしているのかが、もうちょっと工夫できるんじゃないかと思います。会議の回数とか、それが何なのかというところ

ろが気になりますので、その辺を意識していただいて、もう一步踏み込んだ調書の作成をお願いできたらと思います。

座長：そういう意味では事業によっては、目標値に対して何もしなかったという目標値もありますね。マイナスの事業をする場合は、むしろ、ないことがいいということもあって、うまくいっていたら会議もしなくていいというような、それを一緒にしているところがありますよね。

評価員：数値目標で開催数を掲げている事業など、開催していればいいということではないのに、量より質なのに、質より量になっているようなところがありますので、今年は、期待したいと思います。

評価員：基本的なことですが、評価員メンバーは変わっていませんが、我々も気分は一新しないといけないと思っていて、改革・改善サイクル評価員として、私は今この場にいますが、最初は事務事業総点検評価員だったんです。枚方市のより行政改革を推進する意気込みと言うか、よりP D C Aがうまく回るように改革・改善サイクルと名称も変わって、事務事業総点検から改革・改善サイクルへさらに向上しているんだ、24年度・25年度は総点検を実施し、26年度から改革・改善サイクルにより内容を洗練させて変わったということをもっと記載してはどうでしょうか。

参考資料①のI.実施の趣旨・目的の(1)趣旨の記載内容ですが、更なる事務事業の見直しの前に、新たに、平成26年度より改革・改善サイクルとして評価員会議を設置し、平成27年度が2年目になるというような、一文を入れて、平成27年度へつなげるように、時系列的に記載する必要があるように思いますがいかがでしょうか。

事務局：こちらの資料は、昨年度策定しました実施方針です。平成27年度は新たな方針で取り組んでいくという意味も込めて、平成26年度についても、記載したいと思います。

座長：先ほどの話しと一緒に、新たな方針というよりは、改革・改善サイクルが26年度と27年度の2年間の継続した作業なので、方針としては一つの方針かもしれませんが、評価員からの意見のとおり、昨年度が何をしたかわからないという方針の書き方ではなく、市民目線で考えて。今年やることはこの方針ではわからないということになると思います。

評価員：平成27年度としての趣旨というのを記載いただきたいと思います。

事務局：冒頭にご説明したような平成26年度にどういう取り組みをして、どう改善したかということ踏まえ、今年度どうしていくかということ記載します。

座長：先ほどのご説明に対する意見としては、これぐらいで、よろしいでしょうか。

<異議の声なし>

座長：それでは、先ほどのご説明があった内容の中身に入りますが、所管部署による選定と評価員による選定がありますが、昨年度は、補助金事業グループは別として、それぞれ評

係員が独任制で6グループを選定しました。今年度は、全体の25グループの中から6グループを除いた19グループから選定するということとなりますが、事務事業総点検の選定方法と同じようなやり方で選定すると、3名の評価員がチェックした6グループを平成26年度に点検・評価したので、2名の評価員がチェックしたグループを平成27年度に点検・評価するということとなりますが、いかがでしょうか。

<異議の声なし>

座長：評価員2名が選定したグループは何グループありましたか。

事務局：評価員2名が選定したグループは4グループです。グループ名を読み上げますと、3番の施設維持管理事業（指定管理除く）、4番の施設等運営事業（指定管理除く）、18番の啓発事業、21番の育成事業となります。

座長：それでは、この4グループに決定してよろしいですか。

<異議の声なし>

座長：スケジュールとしては、昨年度からすると類似事業グループの選定作業がなくなりますが、先ほどご説明いただいたスケジュールについては変更ないですか。

事務局：資料1の4. 今後のスケジュール（案）の6月上旬から7月上旬に記載しております類似事業グループの選定という作業がなくなります。

座長：それでは、この4グループに決定して、類似事業グループの選定作業はなしということで、スケジュールが少し楽になりますが、できましたら、前倒しで評価員が作業できるようにしていただきたいと思います。

事務事業の選定については、個別に議論して進めていきたいと思いますので、事務事業の選定結果については、次回の会議で3人の評価員が何を選定したのかのご報告をお願いしたいと思います。事務事業の選定については、100事業を目途にとなっていますが、ちなみに4グループの事業数はどれくらいになりますでしょうか。

事務局：平成26年度の事業数ですが、4グループで143事業となっております。平成26年度は所管部署による選定が26事業ありましたので、昨年度と同様となりましたら、評価員選定分としては、70事業前後を選定いただければと思います。

座長：先ほど類似事業グループを決定しましたので、全体的な前倒しが可能ではないかと思いますが、第2回の評価員会議は7月上旬ということではよろしいですか。

事務局：7月上旬でお願いします。

座長：点検・評価資料についてですが、昨年度実施した内容で記載内容等は整理していただけるということなので、それを期待してということで、その他は、何かご意見等ございませんでしょうか。

<意見等なし>

座長：スケジュールについては、資料等を早めに送付いただいて、評価員の作業期間をできる

だけとっていただけたらと思います。よろしくお願いします。

評価員からこれまでの資料の反省点等の意見が出ておりますので、事務局としてとらえていただき、所管部署へお伝えいただきたいと思います。それでは、本日議論いたしました実施予定で、平成27年度を取り組んでいくということと、平成27年度に点検・評価対象グループとする類似事業グループは決定したということで、今後の作業をよろしくお願いいたします。

3. その他

座長：その他ということで、事務局からの連絡事項など何かございますか。

事務局：本日はご意見をいただきまして、どうもありがとうございました。

いただきましたご意見等を踏まえ、実務的な作業に入ってまいりたいと考えております。なるべく早い、前倒しでの作業を行ってまいりますので、よろしくお願いいたします。次回の会議ですが、第2回の会議を7月上旬に開催させていただきたいと考えております。具体の日程については、改めてご都合をお伺いしたうえで、設定してまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。以上です。

4. 閉会

座長：そうしましたら、本日は第1回評価員会議ということで、基本的な事項を決定できましたので、これで終了したいと思います。ありがとうございました。